

保存版

富田林市立向陽台小学校
校長 澤口 雅彦

震度5弱以上の地震発生時の学校の防災対応について

震度5弱以上の地震が発生した場合、次のように対応いたしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

◆ 基本的な対応

震度5弱以上の地震が発生した場合、学校は臨時休校とします。

- 「命」を守ることを最優先とする。
- どこにいても、どのような状況でも「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ、素早く身を寄せて安全を確保する。
- 児童自らが判断し行動する。

◆ 発生時間帯別による対応

※あくまでも原則的な対応であり、発生時の状況により異なる場合もあります。

地震発生時間帯	児童・保護者の動き
自宅待機中 (当日)	・安全を確保して自宅待機。 ・必要に応じて避難所へ(自分で・家族と)
登下校時間中	・各自が判断し、原則、学校へ移動する。 ・無理と判断した場合は、その場で待機、または自宅へ戻る。 ・近くにあるできるだけ安全な場所を見つけて、身を寄せる。 ・一人で行動せず、近くにいる人と共に行動する。 ・登校した場合は、学校待機とし、保護者に直接引き渡す。
学校授業時間中	・臨時休校となり、児童は学校待機。 ・原則、児童は保護者に直接引き渡すまで学校待機とする。

◆ 保護者への連絡・引き渡しについて

登下校中、または授業中に地震が発生した場合、メール配信(ミマメルメ)が出来る状況であれば、その対応について、メールにて連絡をします。ただし、地震発生と同時にメール配信が困難になる可能性もあることをご了解ください。児童は保護者に引き渡すまでは、学校で待機させます。なお、電話での対応は出来かねる場合がありますのでご了解ください。出来るだけ緊急メール(ミマメルメ)への登録をお願いします。

◆ 学校再開について

災害の状況等を把握した上で学校再開が可能と判断した場合、校門に連絡事項を張り出します。その指示により登校させてください。また、合わせてメールでも連絡をします。

お願い

地震が発生した場合、「どのように行動するか」「どこに避難するか」などあらゆる場合を想定して各家庭でも話し合っておいてください。